

福島第一港湾内・周辺海域の 海水モニタリング状況

TEPCO

2017年9月7日
東京電力ホールディングス株式会社

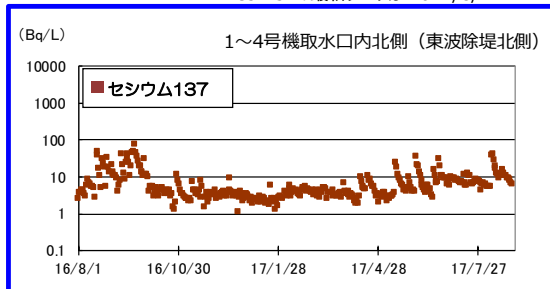
【1～4号機取水口開渠内】 海水サンプリング結果

■ 海側遮水壁閉合以降、放射性物質濃度は低下しているが、降雨時に一時的な上昇が見られる。

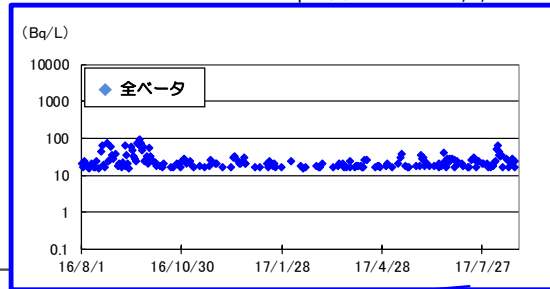
法令告示濃度 (ベクレル/リットル)

- セシウム137 : 90
- ▲ トリチウム : 60, 000
- ストロンチウム90 : 30

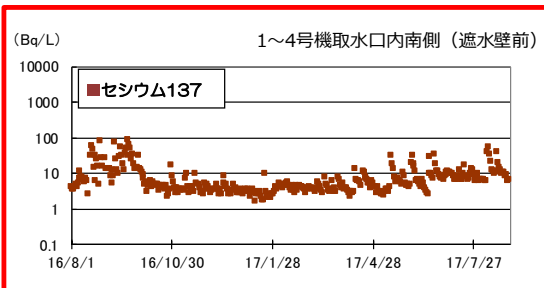
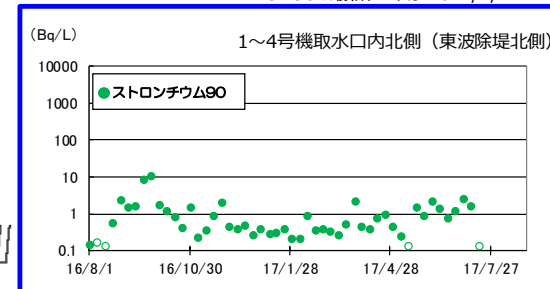
Cs-137の最新データは 2017/8/27



全βの最新データは 2017/8/25



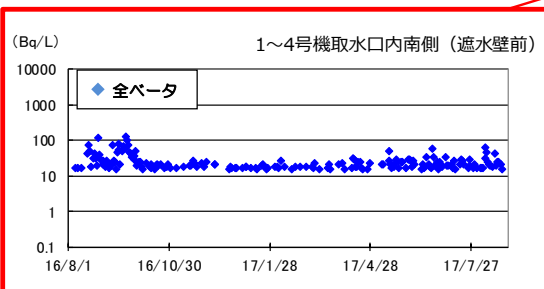
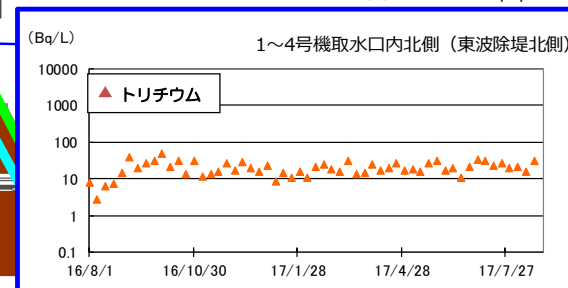
Sr-90の最新データは 2017/7/17



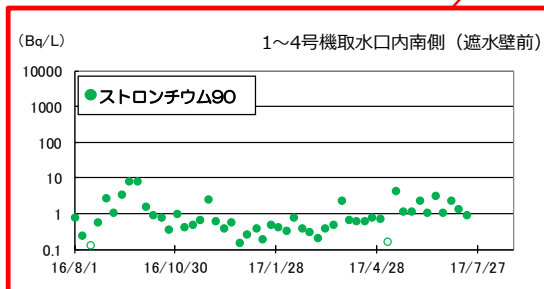
Cs-137の最新データは 2017/8/27



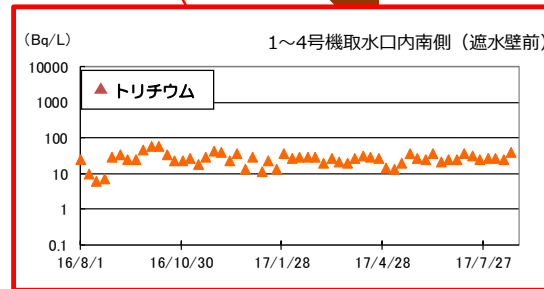
H-3の最新データは 2017/8/21



全βの最新データは 2017/8/24



Sr-90の最新データは 2017/7/17



H-3の最新データは 2017/8/21

- セシウム137
- ◆ 全ベータ
- ▲ トリチウム
- ストロンチウム90
- ストロンチウム90検出限界値

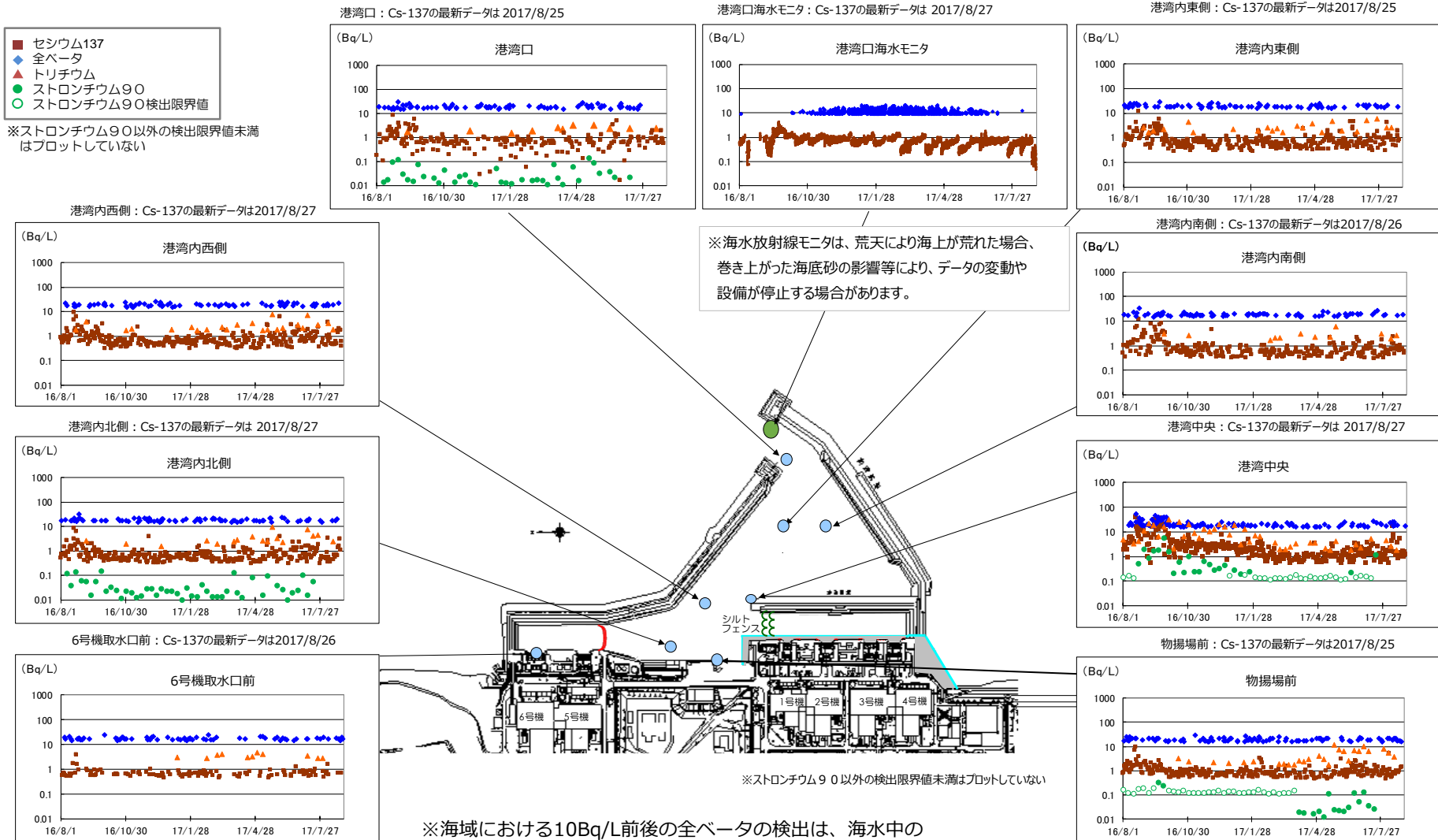
※ストロンチウム90以外の検出限界値未滿はプロットしていない

※2015年10月26日 海側遮水壁閉合完了

※1～4号機取水口内南側(遮水壁前)は、最後に遮水壁閉合を実施した箇所。

※海域における10Bq/L前後の全ベータの検出は、海水中の天然カリウム(十数Bq/L)の影響を受けているもの。

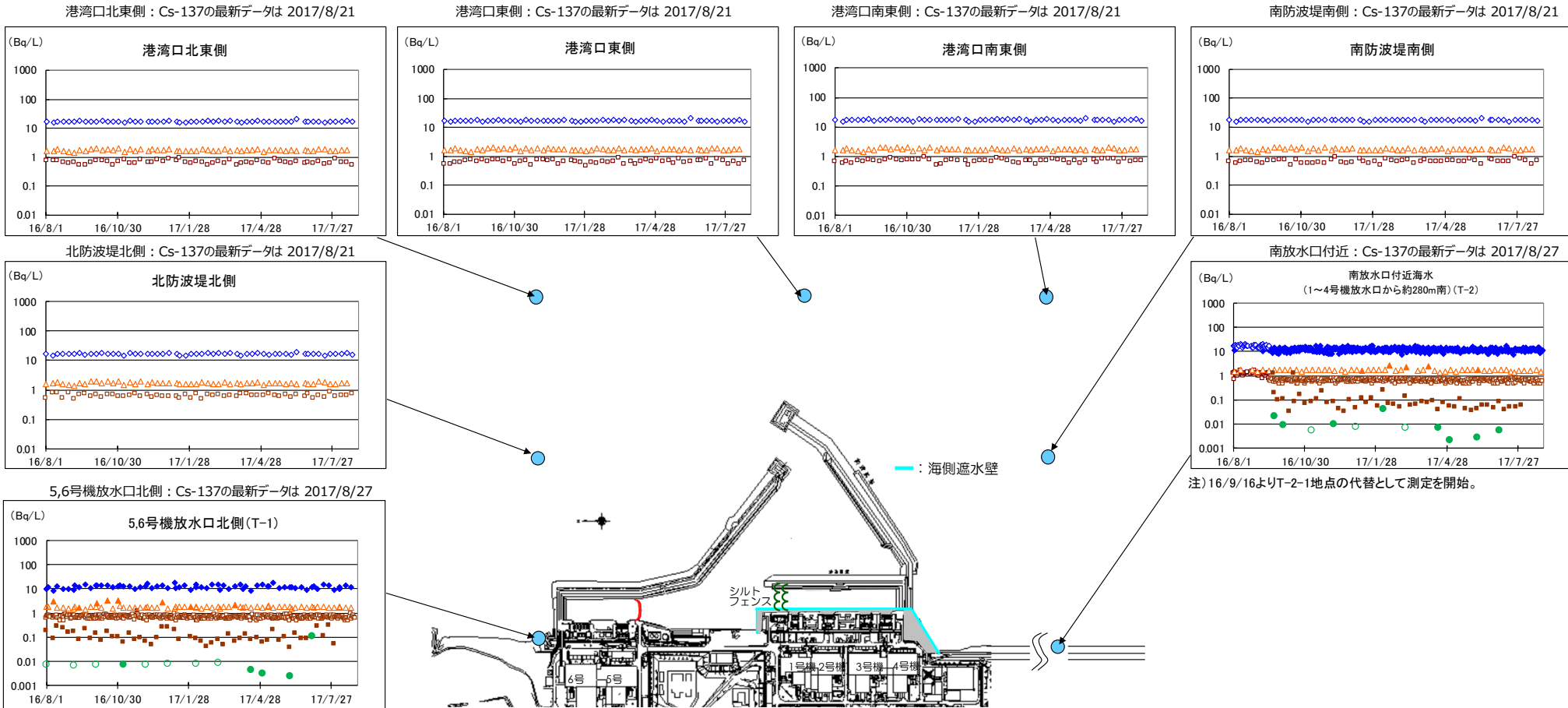
■ 海側遮水壁閉合後、港湾内の1～4号機取水口開渠の外側では、海水中の放射性物質濃度が低下し、その後は低い濃度が継続。



【港湾外（周辺）】 海水サンプリング結果

■ 港湾外の各採取点は、従来より低濃度であり、ほとんどが検出限界未満を継続。

- セシウム137
- ◆ 全ベータ
- ▲ トリチウム
- ストロンチウム90
- セシウム137検出限界値
- ◇ 全ベータ検出限界値
- △ トリチウム検出限界値
- ストロンチウム90検出限界値

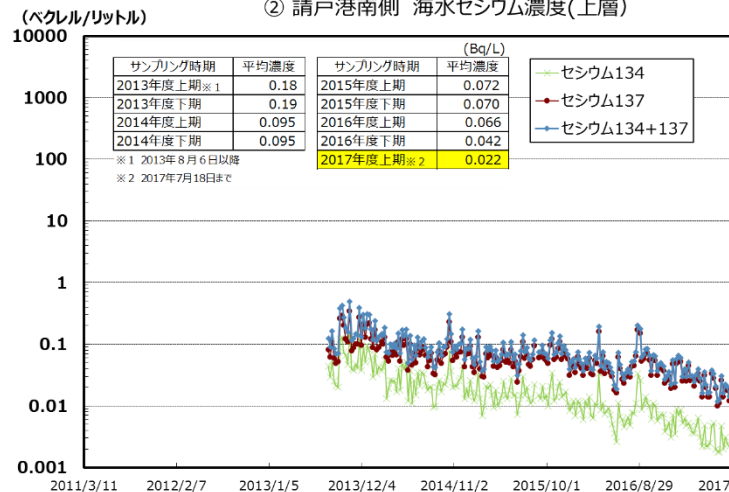


※海域における10Bq/L前後の全ベータの検出は、海水中の天然カリウム（十数Bq/L）の影響を受けているもの。

※5,6号機放水口北側（T-1）、9/13～南放水口約330m南（T-2）のセシウム137については、週1回の頻度で詳細分析を実施。

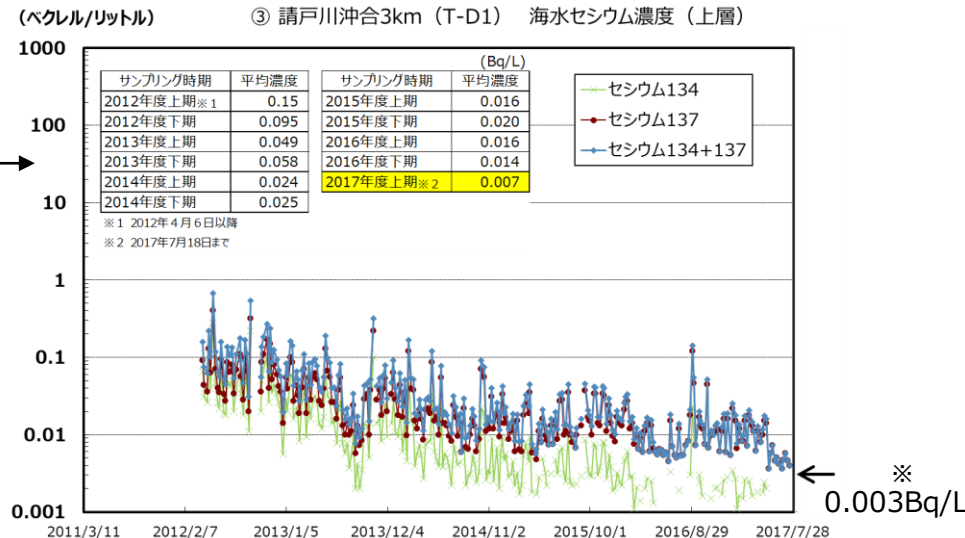


② 請戸港南側 海水セシウム濃度(上層)



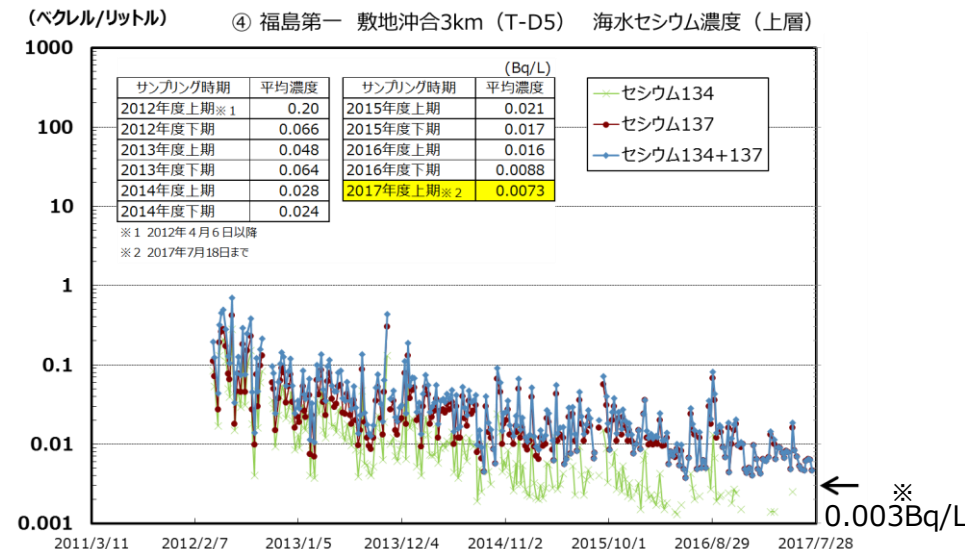
※ 0.003Bq/L

③ 請戸川沖合3km (T-D1) 海水セシウム濃度 (上層)



※ 0.003Bq/L

④ 福島第一 敷地沖合3km (T-D5) 海水セシウム濃度 (上層)



※ 0.003Bq/L

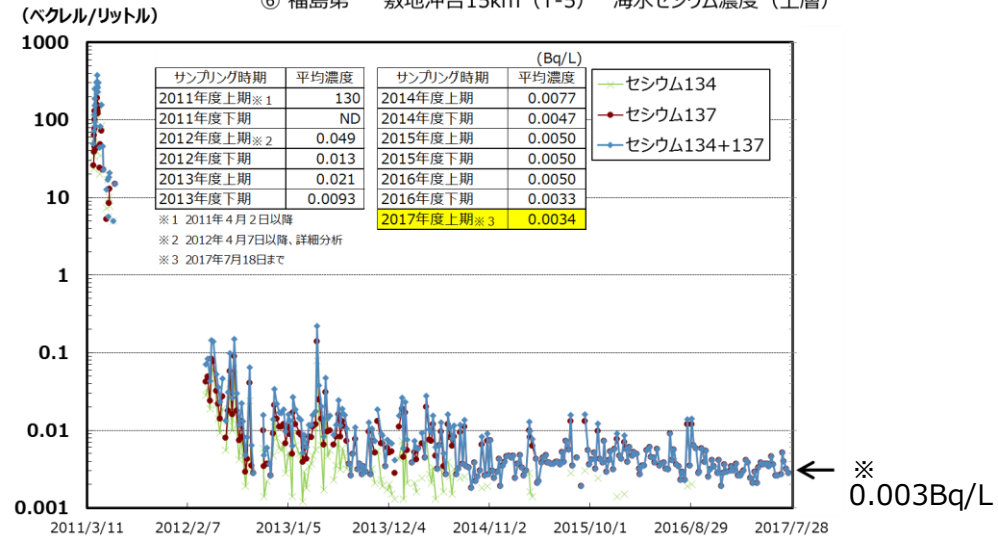
※グラフ右側の矢印は、震災前(平成22年度)の福島県海水セシウム137濃度 最大値0.003Bq/L

出典：公益財団法人海洋生物環境研究所 原子力施設等防災対策等委託費

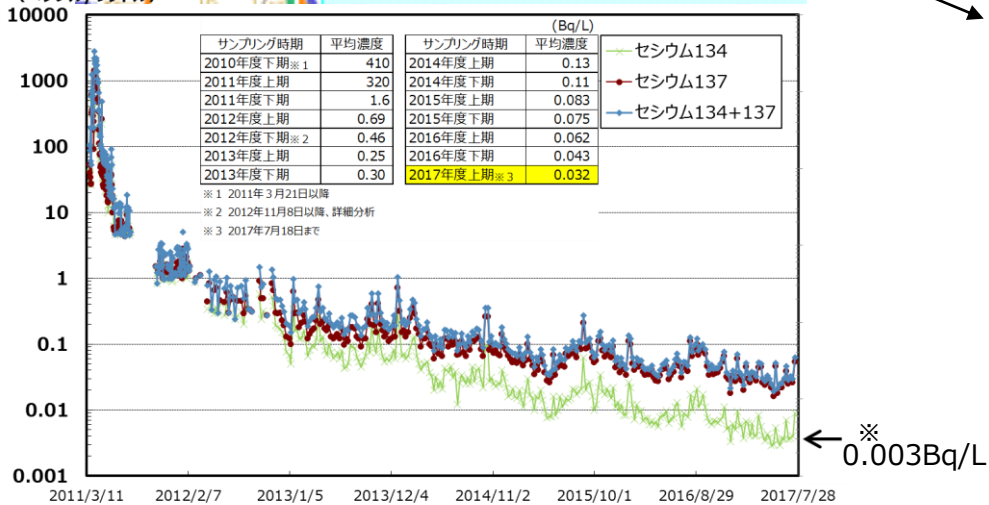
(海洋環境における放射能調査及び総合評価) 事業 調査報告書



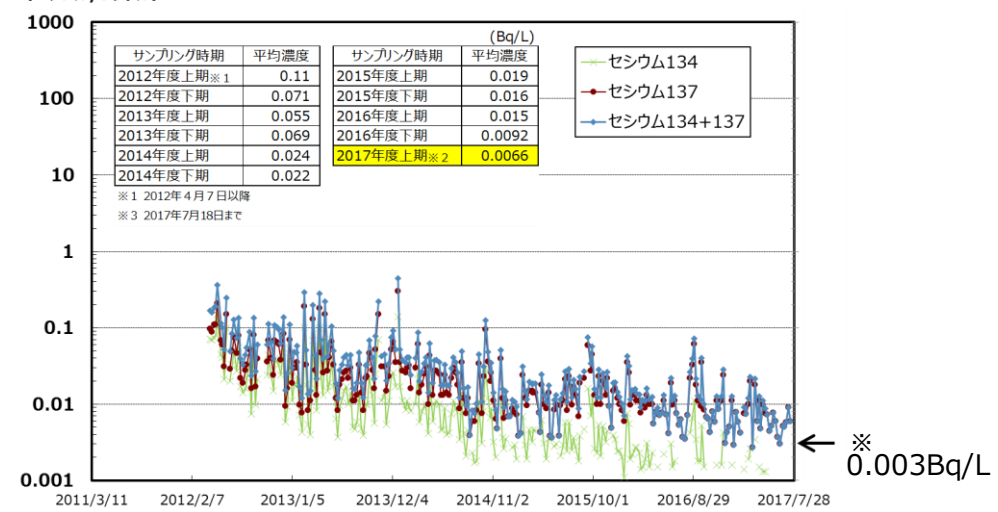
⑥ 福島第一 敷地沖合15km (T-5) 海水セシウム濃度 (上層)



① 福島第二 北放水口付近 海水セシウム濃度 (上層)

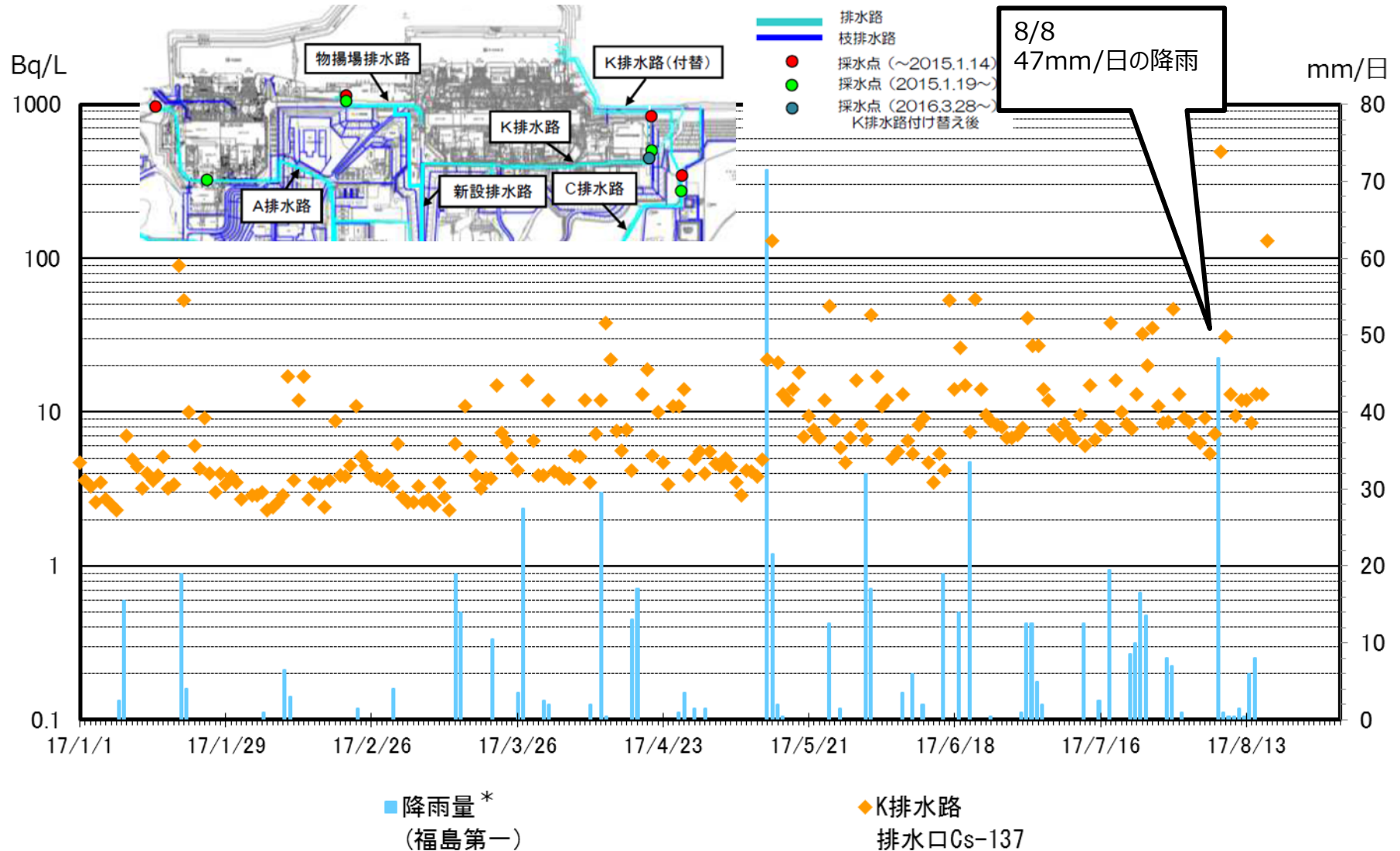


⑤ 福島第二 敷地沖合3km (T-D9) 海水セシウム濃度 (上層)



※グラフ右側の矢印は、震災前（平成22年度）の福島県海水セシウム137濃度 最大値0.003Bq/L
 出典：公益財団法人海洋生物環境研究所 原子力施設等防災対策等委託費
 (海洋環境における放射能調査及び総合評価) 事業 調査報告書

<参考> 降雨に伴うK排水路濃度データ推移



* : 2017/5/13～5/15 欠測につき浪江アタカスのデータを使用

<参考> 敷地内地下水のモニタリング状況

■ 全般的に、過去の変動範囲内で推移しており、大きな変動は見られない。

No. 0-1

セシウム137: 31 (8/21)
全ベータ : 100 (8/21)
トリチウム : 9,800 (8/21)

No. 1-9 (地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: -※1 (8/25)
全ベータ : ND<15>(8/25)
トリチウム : 670 (8/23)

No. 2-7 (地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: 0.85 (8/24)
全ベータ : 320 (8/24)
トリチウム : 900 (8/21)

No. 3-5 (地盤改良部分よりも海側)

セシウム137: -※1 (8/24)
全ベータ : 56 (8/24)
トリチウム: 220 (8/17)

No. 0-2

セシウム137: ND<0.41>(8/21)
全ベータ : ND<13>(8/21)
トリチウム : 390 (8/21)

No. 1-8

セシウム137: 420 (8/22)
全ベータ : 4,300 (8/22)
トリチウム : 1,500 (8/22)

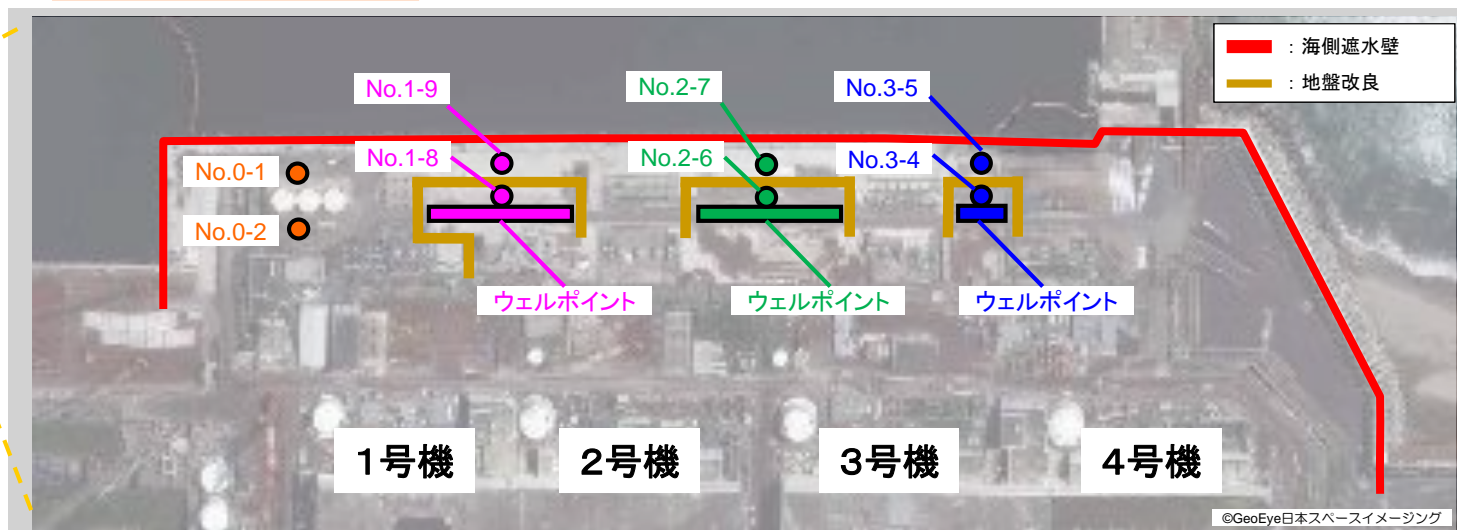
No. 2-6

セシウム137: ND<0.49>(8/25)
全ベータ : 54 (8/25)
トリチウム : 1,000 (8/23)

No. 3-4

セシウム137: 3.5 (8/24)
全ベータ : ND<13>(8/24)
トリチウム : 1,100 (8/17)

単位: ベクレル/リットル
ND: 検出限界値未満
<>: 検出限界値



1・2号機ウェルポイントくみ上げ水

セシウム137: 72 (8/22)
全ベータ : 220,000 (8/22)
トリチウム : 21,000 (8/22)

2・3号機改修ウェルくみ上げ水

セシウム137: 採取なし
全ベータ : 採取なし
トリチウム : 採取なし

3・4号機改修ウェルくみ上げ水

セシウム137: 採取なし
全ベータ : 採取なし
トリチウム : 採取なし

【参考】法令告示濃度 (単位: ベクレル/リットル)

・セシウム137: 90 ・全ベータ: 30 ・トリチウム: 60,000

※1: No.1-9, No.3-5は採水器による採取のため、γ測定(セシウム)は実施せず、全ベータは参考値として過後に測定。